

平成30年西日本豪雨災害の復旧を支えたツール



ヘルメット

災害ボランティア活動車両

東広島市被災者生活サポートボランティアセンター

活動車両用マグネット



鋤簾(じょれん)



ボルトクリッパー



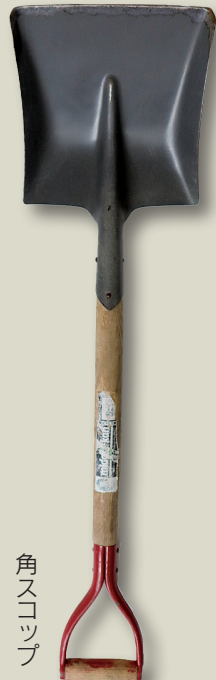
木槌



火ばさみ



十能(じゅつのこ)



角スコップ



一輪車



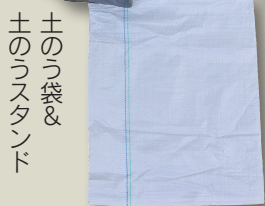
軍手



玄能(げんのこ)



てみ



土のう袋&
土のうスタンド



長靴

ハンマー



デッキブラシ



バール



ほうき



剣スコップ



バケツ



金槌



特集 これらを使う被災地支援だけじゃない、災害ボランティアの多様な活動の仕方

ふれあい

東広島市社協だより
Social Welfare in Higashihiroshima

2025. 6. 1
vol. 228



社協だより「ふれあい」の発行は、地域の皆様の会費・赤い羽根共同募金によって支えられています。

災害ボランティア —それはできることを できるだけ

災害ボランティアって土砂かきとか
家具のもちだしとか体力に自信がないと
できないのでは？
あなたにできる形の
被災地支援があります。



平成30年西日本豪雨時の東広島市災害ボランティアセンターの実際

平 成30年西日本豪雨により、東広島市は甚大な被害を受けました。混乱の中、東広島市社協は災害ボランティアと被災した方を安全に、かつスムーズにつなげるために、初めて災害ボランティアセンターを立ち上げました。誰もが不安を抱えつつ復興を進めていくうえで大きな力になったのは、ボランティアの存在です。

運営のボランティア

災害発生当初、ボランティアセンター運営を担う社協職員も被災し、交通網が寸断されたことでセンターまで行くことができないなど、社協職員だけで運営するのはあまりに困難な状況でした。そんなとき、地域の民生委員や自治協の方々、熱意あふれる学生たち、多くの関係団体など、たくさんのボランティアが運営に携わってくださったのです。困りごとの受付やボランティアへの活動説明、活動終了後の出迎え、資機材の管理など、さまざまな場面で力を貸して下さいました。また、こどもたちには現地活動に行く前と帰ってきたときにボランティアに冷たい飲み物を渡すという役を担ってもらい



子どもたちによるお出迎え（H30年当時）



東広島市の民生委員による電話受付（H30年当時）



訓練にご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました！引き続き東広島市社会福祉協議会をよろしくお願いいたします！



訓練のボランティア受付の様子



訓練に協力くださった地域の方々

災害ボランティア事前登録

広島県内の災害時にはボランティア募集案内がメールで届く、災害ボランティア事前登録を現在受付中！

ボランティア登録をして広島県内の災害に備えよう！

※ボランティア登録は2年度ごとに新規登録手続きが必要です。



事前登録は
こちらから→



こころの豆知識

広島県では災害ボランティアセンターのことを「被災者生活サポートボランティアセンター」と呼んでいます。「被災地の復旧だけではなく、被災者の日常生活全般を支えていく」という思いから、そのように名づけられました。また、センターにはボランティア活動を円滑に進めるため、被災者の困りごととボランティアをマッチングし、活動内容や場所を調整する役割があります。

もしも東広島市で災害が起きてしまったときは「こんな困りごとがある」や「何かできることはありますか」など、どんなことでも構いません。東広島市社協にお気軽にお問い合わせください。



平成30年西日本豪雨を乗り越えて

ました。このように、多くの人に支えられたおかげで、災害という非常事態でも迅速かつ効果的な支援が可能となったのです。平成30年西日本豪雨の東広島市のボランティアセンターは、「みなさん」に支えられたボランティアセンターとなりました。

あの災害から今年で7年—当時を経験した社協職員も少なくなっています。教訓を忘れないために令和7年2月9日に災害ボランティアセンターの運営訓練を行いました。この訓練においても、地域の方々や学生、関係団体などにもご協力いただき、災害時のボランティアセンターの動きを確認していきました。みなさんのご協力のおかげで、今回の訓練はより実践的な状況に近い形で行うことができ、運営面における改善点も明確になるとい、大変貴重な機会となりました。

東広島市社協では、引き続き災害に備えた準備と平常時からの地域のつながりづくりを進めてまいります。

【この記事に関するお問い合わせ先】
本所（企画福祉課）

☎082-422-4075